

# 横断2000年以上の巨樹を守る森、ワイポウア・フォレスト 先住民マオリの聖地でラン&ウォークを満喫するエコツアー



スタート地点「タネ・マフタ」前より北元参加者と一緒にスタート



ワイポウアの森で大会メイン種目 ラン or ウォークに参加



樹齢2000年の森の父「テ・マツア・ナヘレ」の前で地元の仲間たち



2008年の参加メンバー



植林協働作業で森の再生



参加者を代表して木を植える少女



ホテル中庭から臨む美しい湖と対岸の砂丘



海に面したコブソンホキアンガホテル

地元マオリの人々との交流

ミニクルーズで対岸の砂丘に上陸

## What's Waipoua Kauri Forest? ワイポウア・カウリの森とは？

ニュージーランド国内に現存するカウリの木で最大のものが、マオリ語で「森の父」を表す「テ・マツア・ナヘレ」(直径は5.2m)。また高さが51.2mあり、森の父を超える木が、「森の神」を意味する「タネ・マフタ」(直径4.4m)。これらは人が触れ、幹が傷つかないように柵で囲われている。どうしてもカウリの巨木に触れてみたいという人は全長約6kmのヤカストラックを歩き、ヤカスを探してみよう。空高く真っすぐに伸びるその幹からは、あふれる生命力を感じ取ることができるかもしれない。

## ■コース(ワイポウア・フォレスト内) 森林マラソン 森林浴ウォーク 各12km (ノルティックウォーキング)

他に<8日間コース>もご用意しています。  
また、オリジナルコース(期間延長)をご希望の方は  
ご相談ください。

<8日間コース>は4日目の午前中まで<5日間コース>と同一です。  
以下が旅程概要です。詳しくは別途資料をご請求ください。

5月25日(月)	4日目	ホキアンガ	午前 ミニクルーズ 午後 村人の民家を訪問。○マオリの伝統工芸ボーンカービング(牛の骨での細工作り)を体験し、自分のアクセサリーを作つてみることもできます。【ホキアンガ泊】
5月26日(火)	5日目	ホキアンガ オークランド	朝食後、バスにてオークランドへ。 途中、ワイタケレ森林保護地域、カツオドリのコロニー(岩巣地)見学。 ○中心部のホテルにチェックイン【オーカラン泊】
5月27日(水)	6日目	オーカラン ホキアンガ	終日【野鳥の聖域】として国と市民団体が保護に努めるティリテイリマタンギ島訪問【オーカラン泊】
5月28日(木)	7日目	オーカラン ホキアンガ	終日 フリータイム(希望者にはロトルアへのオプショナルツアーガイドを紹介)【オーカラン泊】
5月29日(金)	8日目	オーカラン 東京	早朝、オーカラン空港から帰国の途へ 夕刻 成田空港到着後、解散

## ワイポウア・フォレスト ラン&ウォーク2009参加ツアー<5日間コース>旅程表

5月22日(金)	1日目	東京	◎夕刻、成田空港からニュージーランド航空直便にてオーカランドへ
5月23日(土)	2日目	オーカランド ホキアンガ	◎オーカランド国際空港にて、ホキアンガ村の仲間が皆様をお迎えします。ここからバスでホキアンガへ。 途中昼食休憩も兼ねて、マタコヘ・カウリミュージアムでカウリの木と人の関わりについて学びます。 ◎ワイポウアの森にて、圧倒的大きさのカウリの木・森の神「タネ・マフタ」にご挨拶。 ◎ホキアンガが近づくと、バキアの丘からホキアンガハーバーが見えてきます。 このハーバー(湾)は、1000年以上昔マオリ最初のニュージーランド発見者、Kupeが入航した場所で知られています。 ◎ホテルにチェックイン後、マオリの公式集会所マラエを訪問し、地元マオリの方々による、歓迎の儀式を体験します。人々の繋がりや生命を象徴するホンギ(鼻と鼻をつける挨拶)を行い、前夜祭として皆様にハンギディナー(肉や野菜を地中で蒸し焼きにした、マオリの伝統的な料理)をお楽しみ頂きます。【ホキアンガ泊】
5月24日(日)	3日目	ホキアンガ 滞在	大会当日 ◎ホテルで朝食後、バスで大会会場の昨日訪ねたワイポウアの森へ。 ◎大会メイン種目ランorウォークに参加。<見学、応援の方々は車でゴール地点へ移動> ◎ラン&ウォーク終了後は、ゴール地点で昼食や地元のアート、クラフト展をお楽しみ頂けます。 ◎午後は、参加者全員で植林協働作業。皆さんの手で、森の再生を助けて下さい。 ◎フォレストウォーク(ナイトツアー)ではマオリの生活に深く関わる森の生命の物語と、マオリ語の歌を夜の森で堪能します。【ホキアンガ泊】
5月25日(月)	4日目	ホキアンガ オーカラン	◎ホテルにて朝食後、出発までの時間をノンビリおくつろぎください。 ◎ご希望の方は目前に広がる巨大な砂丘に向か、約1時間のミニクルーズをお楽しみ頂けます。 対岸の砂丘でのんびり、またはウォーキングも可能です。ちょっと大胆に遊んでみたい!そんな方は、お好みでサンドボーティングも体験できます。昼ごろ、バスにてオーカランドへ移動 ◎オーカランドのホテルにチェックイン。東の間の大都市でのフリータイム ◎オーカランドのホテルにて昼食後、バスにてオーカランドへ移動 ◎オーカランドのホテルにチェックイン。東の間の大都市でのフリータイム ◎早朝、ホテル出発。オーカランド国際空港より、帰国の途へ
5月26日(火)	5日目	オーカラン 東京	◎成田空港 到着後 解散となります。

※やむをえない事情により、旅程は変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

ニュージーランド マオリの故郷ホキアンガの伝説カウリの森は再生するか?

オークランド国際空港に33名が到着した。10ヶ月前と同じく、約束どおり、待っていたのは、マオリのコロ・カーマンさん。語感がいい、彼自身愛媛があるので「コロ！コロ！」といついい言ってしまう。今回は唯一の日本人スタッフアイさんも来てくれた。

初NZの参加者がほとんどだったので、カウリ博物館でまず、NZの歴史(特に森林伐採とカウリを中心としたNZ固有の樹木の過酷な運命)を知つもらつた。今回のツアーは普通のエコツアーではない。約1000年前にハワイキ(ハワイ方面の島)から漂つてきた先住民マオリの聖地に滞在し、森の神と崇められるNZ最大のカウリの巨木「タネ・マフタ」を中心としたワイポウアの森での第1回Waipoua Forest Run & Walk2008を楽しむことが大きな目的だつた。距離はランもウォークも12km。森のエネルギーを体で吸収させてもらおう—という意味も含めて、順位を競わない、森林レクリエーションとしてのイベントだつた。日本からの参加者が全員完走、完歩したのは言うまでもないが、スタート、ゴール前の様々な場面で地元住民(マオリを中心)との交流を楽しんでいた。運営ボランティアとしても参加していた老若男女も加わって、カウリなどの在来種を植林したが、共通の思いを胸に真剣に取組む子供たちの目をみると、将来の希望が見えてきた。

ところで、何度もNZに来ている私が感動したのは彼らの「歌」だつた。初日、マオリの神聖な集会所「マラエ」にご招待いただいた際も、歌いながら出迎えていただき、長老の歌も披露いただいた。お返しとして、即興の下手な英語スピーチに加えて、口からでたのは「ふるさと」だつた。全てがアカペラの世界で、童心に戻つて熱唱したが、苦情せず、ホットひと思つくことができた。森の神「タネ・マフタ」をナイトウォークで訪ねた時はコロさんははじめマオリスタッフの立体音響効果を生かした歌の演出で、ホキアンガに伝わるカウリ伝説を洗練されたエンターテイメントとして楽しんだ。ナイトウォーク中、足元で踏みそうになったカウリの稚樹を見つけて、「タネ・マフタも最初はこれと同じだった。2000年の歳月を生き抜いてきた。だから小さな命でも大切にする」と彼らは説いた。宗教には疎いが、日本の神道と共に通する自然の理法を感じたし、祖先を敬うマオリの生き方を肌で感じることができた。

最終日、ホキアンガを去る際、タネ・マフタに挨拶を行つたが、誰からともなく、感謝の歌を捧げようということになり、「ふるさと」を歌つた。こんな気持ちにさせてくれた人々や自然に感謝したい。そして、再度、「ふるさと」に戻つてみたい。

2008年夏至

エコツーリズム・プロデューサー 岩崎 健一郎

# Waipoua Forest Run&Walk2009

ワイポウア・フォレスト ラン&ウォーク2009参加ツアー

旅行期間:2009年5月22日(金)~26日(火) 5日間

旅行代金:おひとり178,000円

- 旅行代金に含まれるもの  
往復航空運賃(エコノミークラス)、ホテル代(2名1室)、その他旅程表に記載の内容
- 旅行代金に含まれないもの  
往復航空運賃(エコノミークラス)、ホテル代(2名1室)、その他旅程表に記載の内容
- 利用予定航空会社:ニュージーランド航空
- 利用予定ホテル:ホキアンガ/コブソンホキアンガホテル、オーカランド/メルキュールホテルなど
- 食事条件:朝2回、昼3回、夕2回 ホキアンガでは全食事付き(機内食含まず)
- お1人部屋利用追加料金:20,000円
- 剪集人員:30名(最少催行人員10名)
- ツアーディレクター(添乗員)同行

# 樹齢2000年以上の巨樹を守る森、ワイポウア・フォレスト 先住民マオリの聖地でラン&ウォークを満喫するエコツアー



スタート地点「タネ・マフタ」前より北元参加者と一緒にスタート



ホテル中庭から臨む美しい湾と対岸の砂丘

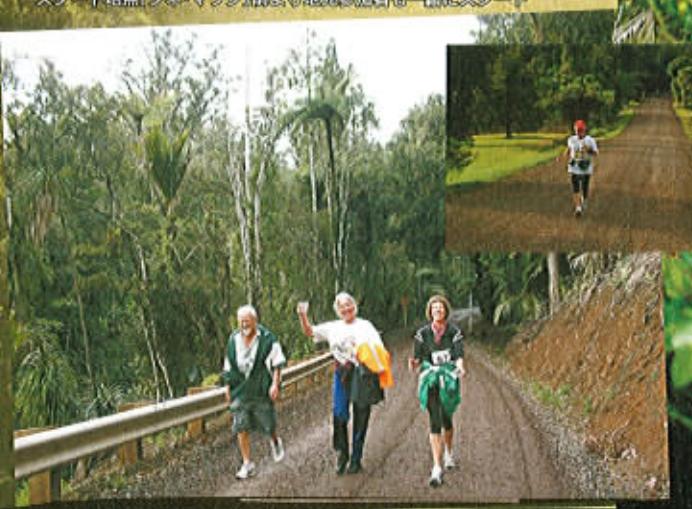


ミニクルーズで対岸の砂丘に上陸

## What's Waipoua Kauri Forest? ワイポウア・カウリの森とは?

ニュージーランド国内に現存するカウリの木で最大のものが、マオリ語で「森の父」を表す「テ・マツア・ナヘレ」(直径は5.2m)。また高さが51.2mあり、森の父を超える木が、「森の神」を意味する「タネ・マフタ」(直径4.4m)。これらは人が触れ、幹が傷つかないようないように柵で囲われている。どうしてもカウリの巨木に触れてみたいという人は全長約6kmのヤカストラックを歩き、ヤカスを探してみよう。空高く真っすぐに伸びるその幹からは、あふれる生命力を感じ取ることができるかもしれない。

## ■コース(ワイポウア・フォレスト内) 森林マラソン 森林浴ウォーク 各12km (ノルティックウォーキング)



ワイポウアの森で大会メイン種目 ラン or ウォークに参加



樹齢約2000年の森の父「テ・マツア・ナヘレ」の前で地元の仲間たちと



2008年の参加メンバー



森を静かに見下ろす、樹齢約1200年の森の神「タネ・マフタ」



カウリの森づくりに励む夫婦

他に<8日間コース>もご用意しています。  
また、オリジナルコース(期間延長)をご希望の方は  
ご相談ください。

<8日間コース>は4日目の午前中まで<5日間コース>と同一です。  
以下が旅程概要です。詳しくは別途資料をご請求ください。

5月25日(月)	4日目	ホキアンガ	午前 ミニクルーズ 滞在	①午後 村人の民家を訪問。②マオリの伝統工芸ボーンカービング(牛の骨での細工作り)を体験し、自分のアクセサリーを作ってみることもできます。【ホキアンガ泊】
5月26日(火)	5日目	ホキアンガ	①朝食後、バスにてオークランドへ。 ②途中、ワイタケレ森林保護地域、カツオドリのコロニー(巣巣地)見学。 ③中心部のホテルにてチェックイン【オーカラン泊】	①朝食後、バスにてオーカラン泊。
5月27日(水)	6日目	オーカラン	①終日「野鳥の聖地」として国と市民団体が保護に努めるティリテイリマタンギ島訪問【オーカラン泊】	①終日「野鳥の聖地」として国と市民団体が保護に努めるティリテイリマタンギ島訪問【オーカラン泊】
5月28日(木)	7日目	オーカラン	①終日 フリータイム(希望者にはロトルアへのオプショナルツアーガイド)【オーカラン泊】	①終日 フリータイム(希望者にはロトルアへのオプショナルツアーガイド)【オーカラン泊】
5月29日(金)	8日目	オーカラン	①早朝、オーカラン空港から帰国の途へ ②夕刻 成田空港到着後、解散	①早朝、オーカラン空港から帰国の途へ ②夕刻 成田空港到着後、解散

※やむをえない事情により、旅程は変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

ニュージーランド マオリの故郷ホキアンガの伝説カウリの森は再生するか?

オークランド国際空港に33名が到着した。10ヶ月前と同じく、約束どおり、待っていたのは、マオリのコロ・カーマンさん。語感がいい、彼自身愛媛があるので「コロ!コロ!」といついい言ってしまう。今回は唯一の日本人スタッフアイさんも来てくれた。

初NZの参加者がほとんどだったので、カウリ博物館でまず、NZの歴史(特に森林伐採とカウリを中心としたNZ固有の樹木の過酷な運命)を知つもらつた。今回のツアーは普通のエコツアーではない。約1000年前にハワイキ(ハワイ方面の島)から漂つてきた先住民マオリの聖地に滞在し、森の神と崇められるNZ最大のカウリの巨木「タネ・マフタ」を中心としたワイポウアの森での第1回Waipoua Forest Run & Walk 2008 を楽しむことが大きな目的だつた。距離はランもウォークも12km。森のエネルギーを体で吸収させてもらおう――という意味も含めて、順位を競わない、森林レクリエーションとしてのイベントだつた。日本からの参加者が全員完走、完歩したのは言うまでもないが、スタート、ゴール前後の様々な場面で地元住民(マオリを中心)との交流を楽しんでいた。運営ボランティアとしても参加していた老若男女も加わって、カウリなどの在来種を植林したが、共通の思いを胸に真剣に取組む子供たちの目をみると、将来の希望が見えてきた。

ところで、何度もNZに来ている私が感動したのは彼らの「歌」だつた。初日、マオリの神聖な集会所「マラエ」にご招待いただいた際も、歌いながら出迎えていただき、長老の歌も披露いただいた。お返しとして、那覇の下手な英語スピーチに加えて、口からでたのは「ふるさと」だつた。全てがアカペラの世界で、童心に戻つて熱唱したが、苦情せず、ホットひと思つくことができた。森の神「タネ・マフタ」をナイトウォークツア―で訪ねた時はコロさんははじめマオリスタッフの立体音響効果を生かした歌の演出で、ホキアンガに伝わるカウリ伝説を洗練されたエンターテイメントとして楽しんだ。ナイトウォーク中、足元で踏みそうになったカウリの稚樹を見つけて、「タネ・マフタも最初はこれと同じだった。2000年の歳月を生き抜いてきた。だから小さな命でも大切にする」と彼らは説いた。宗教には疎いが、日本の神道に共通する自然の理法を感じたし、祖先を敬うマオリの生き方を肌で感じることができた。

最終日、ホキアンガを去る際、タネ・マフタに挨拶を行つたが、誰からともなく、感謝の歌を捧げようということになり、「ふるさと」を歌つた。こんな気持ちにさせてくれた人々や自然に感謝したい。そして、再度、「ふるさと」に戻つてみたい。

2008年夏至

エコツーリズム・プロデューサー 岩崎 健一郎

# Waipoua Forest Run&Walk2009

ワイポウア・フォレスト ラン&ウォーク2009参加ツアー

旅行期間:2009年5月22日(金)~26日(火) 5日間

旅行代金:おひとり178,000円

- 旅行代金に含まれるもの  
往復航空運賃(エコノミークラス)、ホテル代(2名1室)、その他旅程表に記載の内容
- 旅行代金に含まれないもの  
成田空港利用料(2040円)、パッセンジャーセキュリティーチャージ(1120円)、燃油サーチャージ(目安40,000円)、オークランド空港税(1回につき910円)が別途必要です。(2009年1月現在)
- 利用予定航空会社:ニュージーランド航空
- 利用予定ホテル:ホキアンガ/コブソンホキアンガホテル、オークランド/メルキュールホテルなど
- 食事条件:朝2回、昼3回、夕2回 ホキアンガでは全食事付き(機内食含まず)
- お1人部屋利用追加料金:20,000円
- 募集人員:30名(最少催行人員10名)
- ツアーディレクター(添乗員)同行

植林協働作業で森の再生



参加者を代表して木を植える少女